



# からしだね

2022年2月号

(577号)

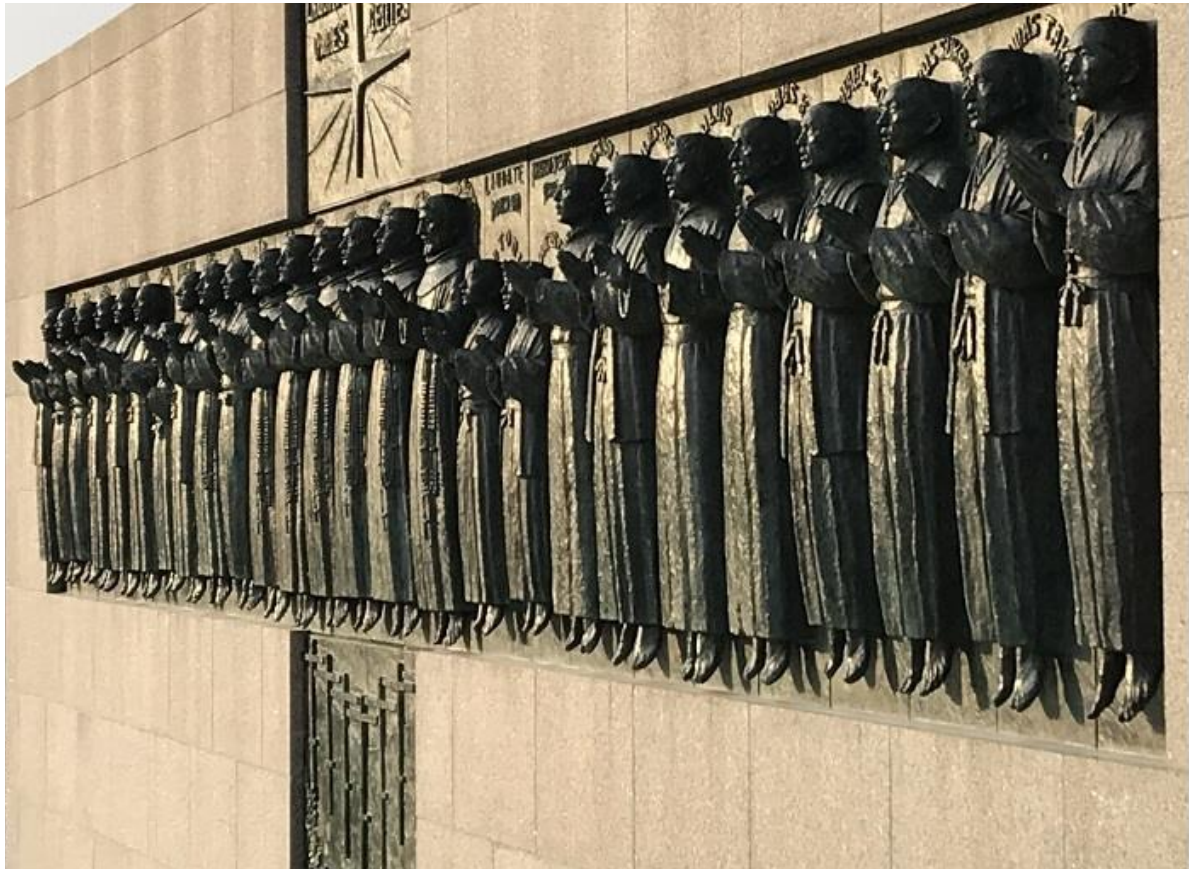
キリストの受難 カトリック池田教会

主任：ノノイ・プラザ神父

住所：〒563-0041 池田市満寿美町9-26

TEL：072-751-2400 FAX：072-753-4624

URL(ホームページ)：<http://catholic-ikeda.sakura.ne.jp/church/index.htm>



## 本号の記事の主題など

2021年 降誕祭メッセージ（ローマ  
と全世界へ） 教皇フランシスコ  
2月のガラスケースのみことばとその解説  
マニラ支援のご協力をお願い  
2022年度初聖体クラスの生徒募集

みんなの談話室  
「主の平和」  
「救霊のために来ました！」  
2月・黙想会などのお知らせ  
今月の表紙写真について

## 巻頭言

## 2021年 降誕祭メッセージ (ローマと全世界へ)

2021.12.25

教皇フランシスコ

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、クリスマスおめでとうございます！

みことばは、この世界を創造し、歴史と人類の歩みに意味を与え、人となって、わたしたちの間に宿られました。みことばは、神秘に開かれている、あらゆる人の心を驚きで満たすために、優しいそよ風のささやきのように訪れます。

みことばは、わたしたちと対話するために人となりました。神は独り言ではなく、対話を望まれます。父と子と聖霊である神ご自身が対話であり、愛といのちの永遠で尽きることはない交わりだからです。

神は、人となられたみことばであるかたを通してこの世に来られ、出会いと対話の道をわたしたちにお示しになりました。それどころか、わたしたちが信頼と希望をもってその道を知り、たどれるようにするために、ご自身が道となりました。

兄弟姉妹の皆さん、「家庭や共同体を一つにしてきた、多くの寛大な人の粘り強い対話がなければ、世界はどうなっていたか」（回勅『兄弟の皆さん』198）。パンデミック下の今日、わたしたちはこのことをいつそう意識するようになりました。わたしたちが社会で互いに結びつく力が、ひどく脅かされています。自分の殻に閉じこもり、自分だけで行動し、他の人と会って協力することを諦めてしまう傾向があります。国際的なレベルでも、対話を避けてしまう恐れがあります。複雑な危機に対し、対話という長い周り道よりも、近道をたどるのはリスクがあるのです。しかし、紛争を解決し、すべての人に持続的に恩恵をもたらせるのは、対話の道だけです。

真の平和の源である救い主の誕生の知らせが、わたしたちの周りや世界中で告げられている今このときにも、実際、数々の紛争、危機、対立が見られます。それらはずっと続くように思え、わたしたちはもはや、それらをあまり気に留めません。わたしたちが当たり前のように捉えているの

で、計り知れない悲劇が今や黙々と続いています。多くの兄弟姉妹の痛みと失意の叫びにわたしたちが耳を傾けない恐れがあります。

シリアの人々のことを考えましょう。彼らは多くの犠牲者と無数の避難民をもたらす紛争のただ中で、十年以上も生きています。長期に渡る紛争からなかなか立ち直れないイラクに目を向けましょう。イエメンから聞こえる子どもたちの叫びに耳を傾けましょう。イエメンでは、何年もの間、甚大な悲劇が人知れず続き、日々死者を出しています。

イスラエルとパレスチナの間で続く緊迫した状態を心に留めましょう。解決されずに長引くこの状況は、社会と政治にますます深刻な影響をもたらしています。イエスの誕生の地であるベツレヘムのことも忘れてはなりません。パンデミックのせいで聖地巡礼者が減り、人々の生活が深刻な経済的な影響を受け、苦境に立たされています。レバノンのことを考えましょう。レバノンは極めて深刻な経済的、社会的な状況を伴う、前例のない危機に直面しています。

それでも、ここに、この真夜中に希望のしるしがあります！今日、ダンテが言う「太陽と星々をめぐらす愛」（『神曲』天国篇・第33歌145〔原基晶訳〕）が人となりました。人の姿となられ、わたしたちとともに苦境を味わい、無関心の壁を打ち砕いてくださいました。夜の冷気のただ中で、小さな腕をわたしたちに差し伸ばしておられます。なんでも必要としておられますが、わたしたちにすべてを与えるために来られます。心を開き、対話する力を主に願い求めましょう。皆の心に、和解と兄弟愛を求める熱意が湧き上がるよう主に祈り求めましょう。主に願いましう。

幼子イエスよ、中東と全世界に平和と一致をお与えください。祖国から逃げざるを得ない人々に人道支援を行う人々を支えて



ください。アフガニスタンの人々を慰めてください。彼らは、40年以上も続く紛争により苦境に陥り、その多くが脱出を余儀なくされました。

すべての民の王よ、緊迫した状態と紛争のために混乱している政府が平和を取り戻せるようお助けください。ミャンマーの人々を支えてください。ミャンマーでは、キリスト教共同体とその礼拝所が、しばしば不寛容と暴力の標的となり、人々の平穏な表情に影を落としています。

出会いと対話のために、どんな逆境にもめげずに、信念をもって行動する人々の光と支えになってください。そして、ウクライナ全土に紛争が広がらないようにしてください。

平和の君よ、エチオピアが、国民の必要を最優先する誠実な取り組みを通して、和解と平和の道を再びたどれるよう支えてください。国際テロの暴力に見舞われているサヘル地域の人々の叫びを聞いてください。分裂と失業、経済格差のために苦しんでいる北アフリカの国々の人々に目を向けてください。スーダンと南スーダンで内戦に見舞われている多くの兄弟姉妹の痛みを和らげてください。

アメリカ大陸の人々が、対話し、互いに尊重し合い、一人ひとりの権利と文化的価値を認めることを通して、連帯と和解と平和的な共存を何よりも大切にしますように。

神の御子よ、このパンデミック下で横行する女性への暴力の犠牲者を慰めてください。いじめや虐待の標的にされた子どもや青少年に希望を与えてください。高齢者、なかでも独りぼっちの高齢者に慰めと愛情を注いでください。子どもたちの最初の教育者であり、社会の基盤である家庭に、平穏と一致をもたらしてください。

わたしたちと共におられる神よ、病者に健康をお与えください。そして、この医療危機とその影響を克服する最善の方法を見いだせるよう、すべての善意の人を励ましてください。必要な治療、とりわけワクチンが、それらをもっとも必要としている

人々に行き渡るよう、人々の心をより寛容にしてください。家族、病者、もっとも弱い人々を気づかい、献身的に援助しているすべての人に報いてください。

ベツレヘムの幼子よ、近年の紛争による多くの捕虜、民間人、兵士、そして政治的理由で拘束されている人々が一日も早く帰宅できるようお助けください。わたしたちが移住者、避難民、難民の悲劇に対して無関心にならないよう導いてください。彼らのまなざしは、わたしたちがそっぽを向いたり、同じ人間である人々を拒んだりせず、彼らの状況を自分に当てはめ、彼らの苦境を思いやるよう訴えかけています<sup>(注)</sup>

人となられた永遠のみことばよ、わたしたちの共通の家であり、わたしたちがあまりにも頻繁にぞんざいに扱うために傷ついている地球を大切にすよう、わたしたちを導いてください。次世代がいのちを大切にす環境の中で生きるために役立つ合意を結ぶよう、政治指導者を励ましてください。

兄弟姉妹の皆さん、現代は多くの苦難に見舞われていますが、希望にはさらに強い力があります。「ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた」（イザヤ9・5）からです。主は神のみことばでありながらも、泣くことしかできず、何についても助けを要する幼子にられました。幼子イエスは、あらゆる子どもと同じように、話しかたを学ぼうとされました。それは、わたしたちが父なる神に耳を傾け、互いの話を聞き、兄弟姉妹として対話できるようにするためです。

わたしたちのためにお生れになったキリストよ、あなたと共に平和の道を歩むすべをお教えください。

皆さん、クリスマスおめでとうございませう！

注：「難民受け入れ・登録センターでの演説」ギリシャ・ミティリーニ、2021年12月5日。

2月のガラスケースのみことば  
**愛は寛容であり、愛は情け深い**

一コリント 13・4

(福音宣教委員会撰)

2月のみことばについての解説 ノノイ・プラザ神父

今月は愛についてのみ言葉です。愛はおそらく最もよく知られている言葉ですが、同時に、最も誤解されやすい言葉でもあります。愛とは何かについて改めて考えてみましょう。

私たちキリスト信者にとって、愛は単に感覚や感情を意味する言葉ではありません。見返りを求めない愛こそが本当の愛だと言えます。それは神から私たちに与えられた贈り物なのです。他人に対する寛容な心や思いやりを持てるようになるには、神からの恵みが必要なのです。

カトリック教会の教えを説明した解説書であるカテキズムには次のように書かれています。

「神は愛です」(一ヨハネ 4・8-16)。神の愛は第一のたまものであり、この愛のうちには他のすべてのたまものが含まれています。この愛は「わたしたちに与えられた聖霊によって、わたしたちの心に注がれて」(ローマ 5・5) います。

イエスキリストは私たちへの愛ゆえに、私たちの罪を贖うために、自ら進んで十字架に架けられました。

イエスが「わたしたちを愛してくださったように」、私たちもお互いに愛し合う努力をしなければなりません。この愛し合う力はキリストに結ばれた新しい命の原理であって、愛に生きることができるのは、「聖霊の力を受けた」(使徒言行録 1・8) からにほかなりません。

この聖霊の力によってこそ、真のぶどうの木である神に繋がり、実を結ぶことができるのです。「聖霊の導きに従って生き」(ガラテヤ 5・25)、互いに許し合い、愛し合うことによって、私たちは真の命をいただくことができるのです。

「聖霊は、わたしたちを樂園に復帰させ、天の国へ昇らせ、神の子らの身分に戻させてくださいます。また、神を父と呼び、キリストの恵みにあずかり」(カテキズム 736)、永遠の命にあずかる恵みを与えてくださいます。

聖パウロはコリントの信徒への第一の手紙で愛について次の言葉で締めくくっています(13・13)。

「それ故、信仰と希望と愛、この三つはいつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。」

## マニラ支援のご協力をお願い

社会活動委員会

マニラ支援とは、フィリピンのマニラに在住する子どもに対してその学業を支援することです。貧困から脱出する事を目的として池田教会は30年ほど前から支援活動をはじめました。当初は2人の女学生を援助していましたが今はフィリピン女性と日本人との間に生まれてきた子どもの援助をしています。皆さんの力が子どもの人生を変えることができます！ぜひマニラ支援の一員になりませんか？支援額は毎月500円です。支援活動にご協力して下さる方や詳細を聞きたい方は社会活動委員まで声を掛けてください。

以下は池田教会がサポートした奨学金受給者のシャーリー・アズマさんから届いた近況報告の礼状です。

## マニラ奨学金受給者からのお礼状

親愛なる支援者のみなさま

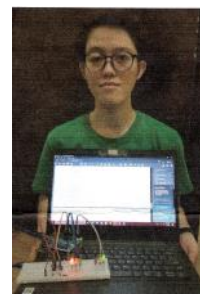
主なる救い主イエス・キリストの名において平和と光がありますように。みなさまが私の勉強のために続けてくださっている支援に対して、心からの感謝を申し上げます。パンデミックのときですら、支援を続けてくださいました。私はほんとうに幸運な人間だと思います。現在は大学での最終学年となり、人生での新しい局面に向かうのに、自信をもって準備を進めています。

夏学期がやっと終わりました。温室でのレタス栽培についてチームを組んで研究と提案をしました。熱源や換気、半自動の給水スプリンクラー、ソーラーパネルを利用したの肥料やりなど、農家の畑での労働を軽減するものです。私たちの研究は環境にやさしいので、教授たちに好評でした。難しい点はあるものの肯定的にとらえてもらい、クラスの中で2位の評価を頂いたので、興奮と喜びの涙を流しました。

今、最終学年の第一学期を迎え、卒論も仕上げなければならないので、いよいよ忙しくなると思いますが、この新しい経験に武者震

いを感じてもいます。このチャレンジに勇敢に自信をもって立ち向かうことによって、自分が成長し、これからの人生でもっと大きな難しいチャレンジにも負けない力がつくと確信できるからです。私たちのグループはここバタガス州タナウアン市の試験農場で自分たちの研究をするつもりです。この研究に喜んで協力して下さる農業専門家もおられます。このプロジェクトが成功しますように！この美しい経験を可能にしてくださったみなさまに感謝します。無謀だと思っていた夢をかなえさせてくださってありがとうございます。未来においても大きな機会が、仕事が残っていると知っています。神さまの力で、神さまのみ心で自分ができること知っています。みなさまが私の学業を助け、家族も助けてくださったことを決して忘れません。お体に気を付けてください。神さまの祝福をお祈りします。感謝と愛をこめて、

シャーリー・アズマ



## 2022年度の初聖体クラスの生徒募集

日曜学校では小学2年生以上を対象とした初聖体クラスを開講してきました。2022年度については、日曜学校在籍の子どもに対象者はありません。しかし、お知り合いの方、親戚の方などに池田教会在籍で初聖体を希望されるお子様がいらっしゃいましたら、青少年委員までお知らせ下さい。

希望者が無かった場合は2022年度の初聖体クラスは実施致しません。

青少年育成委員会



## みんなの談話室

## 「主の平和」

直

好きな言葉である。ミサも終わりに近づく聖体拝領の直前、「主の平和がいつもみなさんとともに」と神父の口から語られる。するとなんだかありがたい気分になる。「なんだか」というのがミソ。誰に強制されるのでもなく、命じられるのでもなく、勝手にありがたがる。この言葉を聞くと、わだかまっていた心のモヤモヤが晴れてゆくのが感じられる。厄介でめんどくさいあれも、鬱陶しいこれも、どっかに吹き飛ばして行け！神さまの平和のまえにはかなわず退散していく。感謝、感謝！！

なぜミサにあずかると心が落ち着き、安らぎを取り戻した気分になれるのだろう。「どうしてミサに来るのですか」と尋ねてみたとする。すると各人各様、いろんな答えが返ってきそうである。御聖体をいただくため、御言葉に耳傾けてイエスに近づくため、という申し分ない答えもたくさん見つかるだろう。わが池田教会は深い信仰をもつ人が多いから、むべなるかなである。でもほかにもあるだろう。友人の顔を見るため、教会の仕事のついで、維持費を払い

に、毎週ごとの習慣でなんとなく……こんな風に考えるとミサに出てくるわけは、ひよっとすると千差万別かもしれない。心の奥底までは誰もわからないから。

いろんな信者を相手に神さまは「主の平和」を授けられる。分け隔てなく与えられる。普段の生活のなかで、心がおちつき安らぐ時間というのは、どれくらいあるだろう。あんがい少ないのではないか。顔が違ふように人間はみなちがう。ひとびととの関係のなかで生きる（生かされている）以上、衝突とまではゆかなくても摩擦や行き違いはさけられない。夫婦であつても血を分けた親子でもおなじ。だからどこかで、このサイクルを抜け出さないといけない。そのための週一度のチャンスのひとつが「主の平和」なのだろう。神さまの平安がこころを満たしたあとは「平和のあいさつ」。笑顔を見せて会釈を交わす。すると前向きの気分。あらたな一週間へのスタートというわけ。ミサはやっぱりよく考えてある。みなさん、今年も主の平和！

## 「救霊のために来ました！」 T.K.

「パーキンソンです」  
線条体シンチグラフィーの検査の結果こう告げられました。

いよいよ順番が来たのかな……

私の場合 Lドパという薬が合わなかったため、投薬は無しで「パーキンソン症候群」だと言うことです。

症候群とパーキンソン病は全く別の病気だそうですが、症状は全く同じだそうです。私が身体の異変に気が付いたのは一年半ほど前だったのですが、その前から気持

ちが優れずうつうつしていました。後期高齢者になった昨年は色々な検査で引っかかったこともありました。

この病気の原因は分かっていますが、脳内のドーパミンが減少していくそうで、昔は1000人に1人の病気でしたが高齢化が進んだ今では70才以上で100人に1人と増えているようです。いずれにしても今のところ完治不能で難病認定を受けています。

病状の特徴は 1.手足が震える 2.筋肉がこわばる 3.動きが少なくなったり遅くなる

4. 体のバランスが取りにくくなる……の4つです。

ボクサーのモハメッドアリや俳優のマイケルJフォックスがこの病気にかかっていた事をご存知の方も多いでしょう。京大の山中教授がIPS細胞を使って完治する研究を続けられ臨床試験も始まっているようです。

「病名を聞いて落ち込まないで」と神父様に言われても、気持ちが落ち込んで……そんな私でしたが、クリスマス、新年のごミサに参加して以来急に沈んでいた気持ちが晴れて来ました。雲の間から青空が覗いた感じです。

「病者の秘跡」も授けていただきました。神様に「大丈夫だよ、安心して任せておきなさい」と言われたような気がして、上手く表現出来ないのですが、それまで冷たく固くなっていた体に何か暖かいものを感じ、急に心が穏やかになりました。秘跡の力は大きい!!

私の場合、右半身が不自由になっていますから、左脳に異変が起きたのでしょう。左脳は音楽や言語を司っていますから、いずれは話も出来なくなります。文字はもう書けませんが、キーボードは間違いながらも未だ打てます。時間はかかりますが有り難いことです。それなら今のうちに発信しておこうと思いました。

私が最初に気付いたのはスパゲティを食べていた時でした。フォークにクルクルとパスタを巻きつける事が出来なくなったのです。それに文字が小さくしか書けないのです。最近では自分で書いた文字が自分で読めなくなりました。自分で書いた字を見て自分で笑っています。その後右半身が徐々に不自由に……右利きの私には不便極まりない……親指と人差し指が上手く動かないので、お箸、歯ブラシ、髪の手入れ、料理(包丁で切る事やまぜること、盛り付けも上手く出来ません)、着替え、それにお札やカードの出し入れ、掃除、洗濯、入浴や寝床から立ち上がるのもだんだん大儀

に……何事にも時間がかかります。

コロナの自粛もあり脚力も極端に弱り、パーキンソン特有の摺り足になりました。今まで徒歩15分で行けた教会でしたが、今では40分以上かかります。

いいや、もうスロースローライフで行きます!

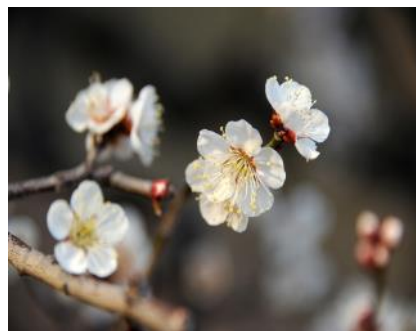
最近ふと、こんな事を思い出しました。教会に通い始めた頃の事です。何も分かっていない私は、マテオ、クレメント両神父様に「はるばるアメリカから何のために来られたのですか」とお尋ねしました。その時にすかさず返って来たのは、お二人口を揃えての「救霊のためです!」との力強いお言葉でした。

長寿になった今では「救霊」という言葉は聞くことが少なくなってしまうような気がします。ちなみにネットで文字を出したくて「きゅうれい」と入力したら「急冷」と出て来ました(笑)。

今こそ私に必要なのは「急冷」ではなく、「救霊」なのだ実感しました。洗礼を受けて本当によかった。

聖霊のお導きを心から願いながら一日一日をゆっくり大切に生きようと思います。

神に感謝



2月・黙想会などのお知らせ

宝塚黙想の家

■ 日帰り黙想会 10:00~15:30

2月8日(火)

指導: 稲葉 善章 神父

2月24日(木)

指導: 染野 治雄 神父

2月25日(金)

指導: 山内 十束 神父



■ 一泊黙想会

2月8日(火) 17:00~9日(水) 15:30

指導: 稲葉 善章 神父

2月25日(金) 17:00~26日(土) 15:30

指導: 染野 治雄 神父

■ カトリック教会のカテキズム

第2・第4 水曜日10:00~12:00

指導: 染野 治雄 神父

教会の教えを学んでみたい、もう一回学び直してみたい方、カトリック教会のカテキズムと一緒に読み、教会が何を教えてきたのか、伝えようとしているのかを学びます。

■ 聖地エルサレムを学ぶ

第3 木曜 10時~12時、

指導 笹田六合豊 修道士

聖なる都エルサレム、この神秘的な都は、私たちが知らない魅力や秘密があふれています。何度も聖地を訪れて、研究しているBr. 笹田がエルサレムや周辺の世界を学ぶ旅をお手伝いします。このクラスに参加して、エルサレムを満喫しましょう。

■ ギリシャ語で味わう聖書のことば

第1 火曜 10時~12時、

指導 稲葉善章 神父

聖書をギリシャ語で読んだら楽しいだろうと夢見る人は多いでしょう。一日一文、単語ひとつひとつ、一緒に読み、発音し、味わっていくなら、それは夢ではありません。ギリシャ語で聖書を味わってみたい方、ぜひ夢をかなえにいらしてください。

■ 聖書の基本

第1・3 水曜日 10:00 ~ 12:00

指導: 山内 十束 神父

聖書を読むことが苦手、どう読んだらいいのかわからない方、基本的な知識や読み方を学んでみるクラスです。

上記の各黙想会、費用等のお問い合わせは「宝塚黙想の家」まで。☎0797 (84) 3111





## 表紙の写真について

2月5日(土)は日本26聖人殉教の日の祝日。令和の日本から考えると、殉教なんてまるで別世界の出来事のように思えるが、実はそうではない。今、現実にはキリスト教が迫害されている国々は思いのほか多い。十字架にはりつけられて、命を落とすことはなくても、逮捕され、長期にわたって収監され、拷問されたりして命を落とす例もあれば、非合法の宗教にされ、息をひそめて暮らす場合もある。武力を持つ独裁者の前に、市民は無力である。独裁者の政権が尽きるのをじっと待つしかない。日本だって明治に開国して、西欧諸国からキリスト教の禁令を廃止するよう圧力をかけられるまで、何百年も要したのだ。

1597年2月5日に豊臣秀吉の命により、長崎の西坂で磔の刑に処せられた26人の中に、パウロ三木がいた。摂津の国出身、安土セミナリオの第一期生で33歳のイエズス会修道士である。磔刑を見守る数千人の見物人を前にして、彼は大声で祈りを捧げた。その現代語訳を掲げる。

ここにいてすべての人々よ、私の言うことをお聴きください。私はフィリピン人ではなく、れっきとした日本人であって、イエズス会の修道士です。なんの罪も犯してはおりません。ただ、私たちの主イエズス・キリストの教えを説きました、それだけで殺されるのです。私はこの理由で殺されることをこよなく喜び、私たちの主の大きい恵みを感謝します。今、死を前にして、私がどうしてあなたたちをあざむくことがあります。どうぞ信じてください。人の救いの道は、キリスト教以外にはないと断言します。あなたたちの迷いを私はさまたげたいのです。

キリストの教えは、自分の敵も、悪をなす者をもゆるせと命じています。だから、私は主君と、また私の死の責任を負うすべての人をゆるします。主君に憎しみをもってはいません。むしろ、彼とすべての日本人がキリスト信者になることを心から望みます。

(サンパウロ発行 永富映次郎著 「日本二十六聖人殉教記」から)

表紙の写真は長崎市西坂にある日本26聖人記念館前に1962年に据えられた、舟越保武作の群像彫刻である。「昇天の祈り」と名付けられたこの作品は、十字架を中心として日本人20名と、スペイン、ポルトガル、メキシコ人などの司祭や修道士6名の殉教者が平等に一行となつて並んでいる。足が地上をすでに離れ、天へ昇りつつある26人がそろって神を賛美し、祈っている姿が美しい。高村光太郎賞の受賞作品である。

## 編集後記

オフィスビルの花壇に植えられている『沈丁花』(ジンチョウゲ)の花が、まだ固いものの蕾を持ち始めていることに、ふと気づいた。

2月から3月が開花時期で、毎年朝の冷えた空気と交通量の少ない時間帯とが相乗効果となつて、いい香りを放ってくれる。

『沈丁花』は、低木で一年中緑樹であることから花言葉では、「勝利」「不死」「栄光」などが掲げられる。今年もコロナ感染症と向き合つて過ごす中、この花言葉で勇気づけられる思いになった。

天使の微笑